

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

北海道大学大学院医学研究科消化器外科学教室Ⅱでの研修を終えて

広島大学大学院医系科学研究科外科学

原田 拓光

この度、2024年度日本臨床外科学会の国内外科研修制度により2024年9月2日から9月13日までの2週間、北海道大学大学院医学研究科消化器外科学教室Ⅱで研修をさせて頂く機会を頂戴しましたので、ご報告させていただきます。

まずはじめに、このような大変貴重な機会を与えて頂きました日本臨床外科学会の万代恭嗣会長、国内外科研修委員会の高山忠利委員長はじめ委員の皆様、私を推薦頂きました浅原利正広島県支部長に厚く御礼申し上げます。また、ご多忙の中でも研修を承諾頂き温かい指導を賜りました、平野 聡教授をはじめとした北海道大学大学院医学研究科消化器外科学教室Ⅱのスタッフの皆様、研修受け入れの際から様々なご配慮をして頂いた浅野賢道医局長、研修中様々なご指導頂きました田中公貴先生、研修で不在の間も勤務を支えてくださった広島大学大学院医系科学研究科外科学の皆様にご心より感謝を申し上げます。

私は大学卒業後、広島大学大学院医系科学研究科外科学に入局し、以降12年間広島県内で研修を行っていたため、他地域・他施設で行われている手術手技や診療について幅広い知見を得たいとの思いから、今回の国内外科研修を希望しました。現在私は、肝胆膵外科医を目指し肝胆膵診療に従事し修練しております。北海道大学大学院医学研究科消化器外科教室Ⅱは、以前から多くの血管合併切除を伴う肝胆膵手術や高難度手術が行われており、国内有数の治療成績を誇る他施設での手術や診療を間近で見たいと考え、この研修を選択しました。

研修内容としては手術見学、病棟回診、各カンファレンスに参加させて頂きました。研修初日は非常に緊張しておりましたが、平野教授のもと、医局内の雰囲気がとても温かく、スタッフの皆様方に気軽に接して頂きましてすぐに打ち解けることができました。北海道大学大学院医学研究科消化器外科教室Ⅱでは、主に上部消化管外科と肝胆膵外科に分かれており、肝胆膵外科では主に胆道癌と膵癌といった悪性腫瘍に対して腫瘍内科・消化器内科と連携し集学的治療が行われています。肝胆膵外科学会高度技能医・指導医の先生が7名在籍されており、そのほか修練医の先生、卒後5-6年目のレジデントの先生が在籍されており、非常に和気藹々と多くの患者さんの診療に携わっておりました。また、北海道内に多数の関連病院をもたれており、各関連病院で研修された先生方は、消化器外科として扱うほぼ全ての臓器に対する標準的手術が行える様に修練され、皆様消化器外科医としての万能性をもたれており、各分野での知識と経験が専門分野にも活かされている印象を受けました。また、北海道ならではの働き方として驚いたのは、外勤先の距離感です。北海道内は私の想像以上に広く、外勤先も道内に幅広く存在しており、札幌-旭川では約200km、札幌-釧路では約300kmと離れており、飛行機を使って外勤先に行かれている先生もおられ、とても驚きました。

ほぼ毎日行われる朝のカンファレンスでは、術前患者の評価や治療方針、病棟患者の状態把握、前週の手術のビデオ振り返りなどが行われ、平野教授がご指導されながら、時には白熱する議論もあり、患者さんのために何が最善かを皆様で話し合われており大変感銘を受けました。道内から多くの患者さんが最新治療を求め紹介受診されており、時には重篤な既往や全身状態不良なハイリスクな患者さんの紹介もあり、標準的な手術をすることだけが決して最善ではなく、個々の患者さんの状態に合わせた方針

決定が重要であることを学びました。

手術見学では、門脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除やロボット支援下尾側膵切除を見学させていただきました。普段から血管合併切除に慣れているからか、血管剥離操作がとてもスムーズかつ丁寧な印象を受けました。また、手術の順序や場の展開に至るまで細部に自施設との違いや共通点があり、大変勉強になりました。これこそが実際に見学することで得られる醍醐味であったと思います。また、平野教授、浅野医局長の計らいで、関連病院である手稲溪仁会病院、斗南病院、イムス消化器病センターでの手術も見学させていただきました。中でも手稲溪仁会病院では、日本有数のhigh volume centerということもあり、手術件数の多さやその診療体制に驚きました。この3施設での見学では、残膵癌のconversion手術症例や腹腔鏡下膵体尾部切除、門脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除と様々な肝胆膵手術を見学でき、三者三様の病院の雰囲気や手術手技を見学させて頂き、とても貴重な経験となりました。

また、研修期間中にはスタッフの皆様大変親切にして頂きました。診療時間以外には夕食に誘って頂き、歓迎会を催して頂きました。多くの先生方とごつくばらんにお話しをさせて頂き、肝胆膵外科の今後の発展や課題や北海道の街の魅力に至るまで、たくさんのことを教えて頂きました。先生方とうこうした交流ができたことも、今回の研修の非常に貴重な経験であったと思います。また、9月の北海道は湿度も低く涼しく、本州の残暑とはかけ離れとても過ごしやすく、非常に充実した時間を過ごすことができました。今回の研修で得た知識や経験、そしてご縁を今後の外科医人生に活かしていきたいと思えます。

最後に改めまして、本研修にご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。大変貴重な機会を作って頂き誠にありがとうございました。